

上富良野町の橋梁長寿命化修繕計画

【背景】

上富良野町が管理・策定する道路橋は、現在 114 橋（鋼橋 29 橋、コンクリート橋 85 橋）あり、その大半は高度経済成長期（1955 年～1973 年）以降に建造されてきたものとなっています。このうち、建設後 50 年を経過する高齢化した橋梁数の割合は、現在のところ全体の約 4%に過ぎませんが、30 年後には、高齢化橋梁の割合が全体の 80%以上を占め、高齢化した橋梁が急速に増大するという調査結果が得られています。これにより、多くの橋梁では、経年劣化に伴う損傷や不具合が発生する可能性が増え、それらは交通の安全を脅かすことにつながっていきます。

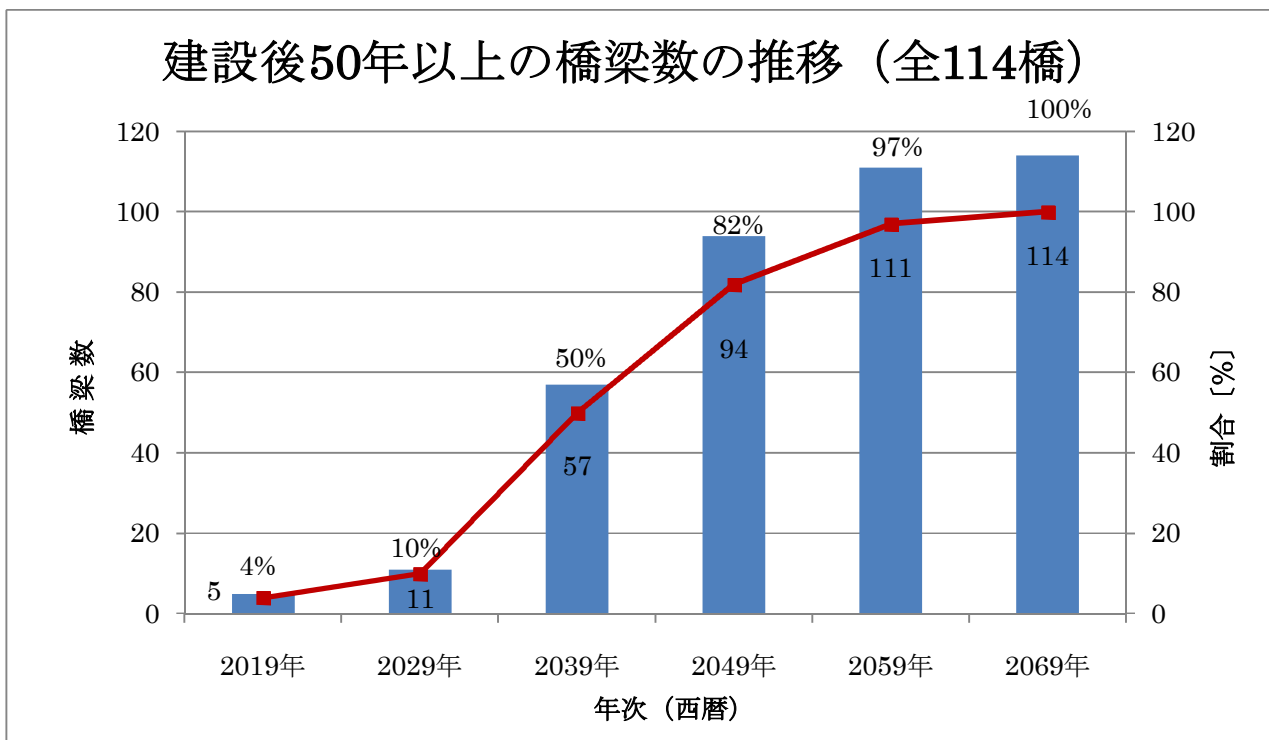


図-1 上富良野町における建設後 50 年以上の橋梁数の推移

【目的】

橋梁管理者（国や地方公共団体等）は、道路使用者に対して、交通の安全を確保することを第一として管理を行っています。

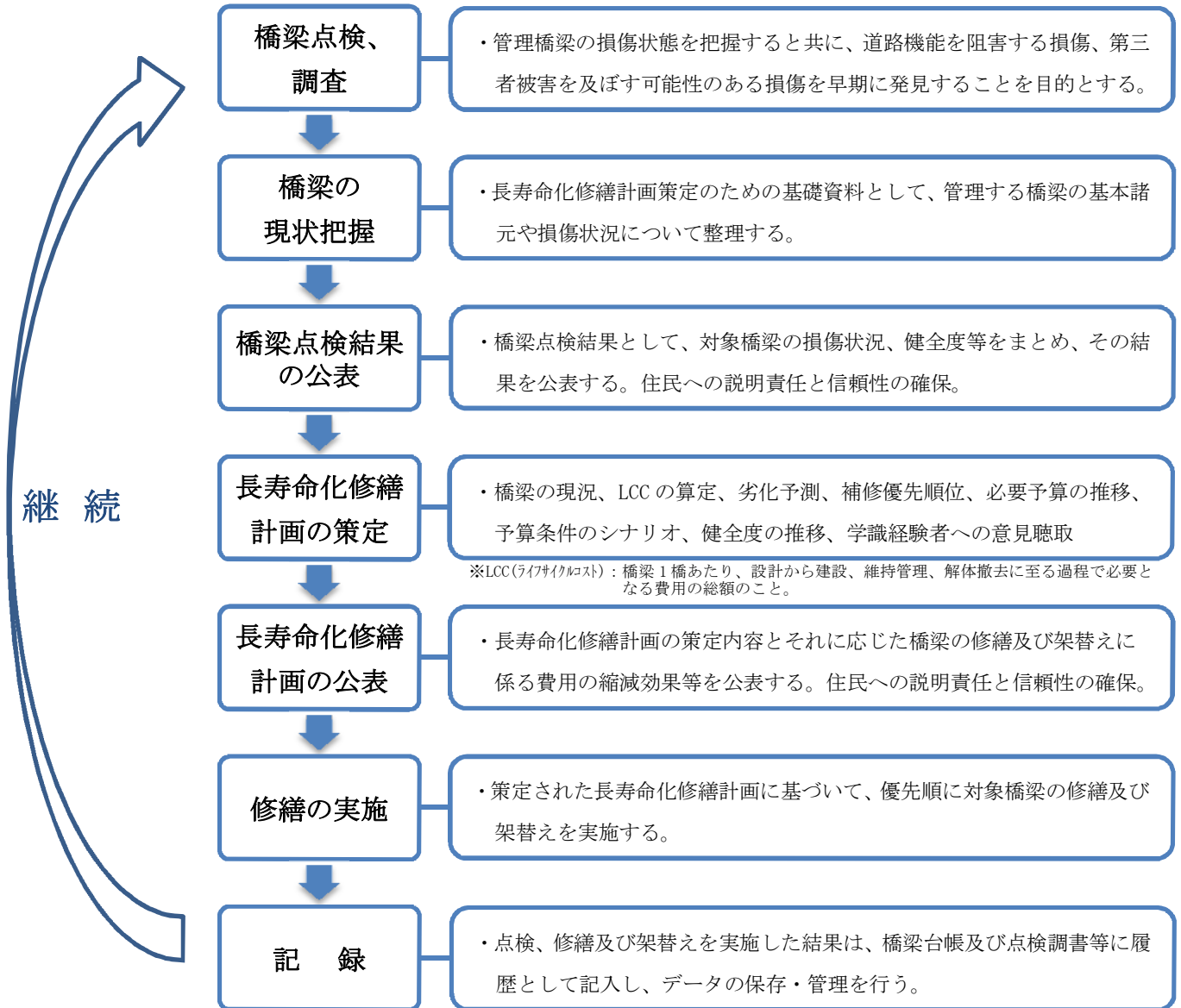
しかし、昨今における橋梁の高齢化や財政状況を踏まえると、持続的な道路整備・橋梁管理を行っていくためには、合理的、効率的、経済的な維持管理体制が求められています。

そこで、先に述べられている背景や現状に対応するため、国では新たに「長寿命化修繕計画策定事業」を制度化し、橋梁管理者に対して実施勧告を行っています。

長寿命化修繕計画とは、今後老朽化する橋梁数の増大に対応するため、従来の事後的な修繕及び架替えから予防的な修繕及び計画的な架替えへの転換を図るとともに、橋梁の長寿命化並びに橋梁の修繕及び架替えに係る費用の縮減を図りつつ、地域の道路網の安全性、信頼性を確保することを目的としています。

【概要】

長寿命化修繕計画策定事業の流れは、以下をご覧ください。



【橋梁点検結果】

上富良野町では、平成30年度(2018年)までに、管理する全110橋の橋梁定期点検(1巡目)が終了しております。

点検された橋梁の中には、通行止め、交通規制等の緊急対策を要する橋梁はありませんでした。

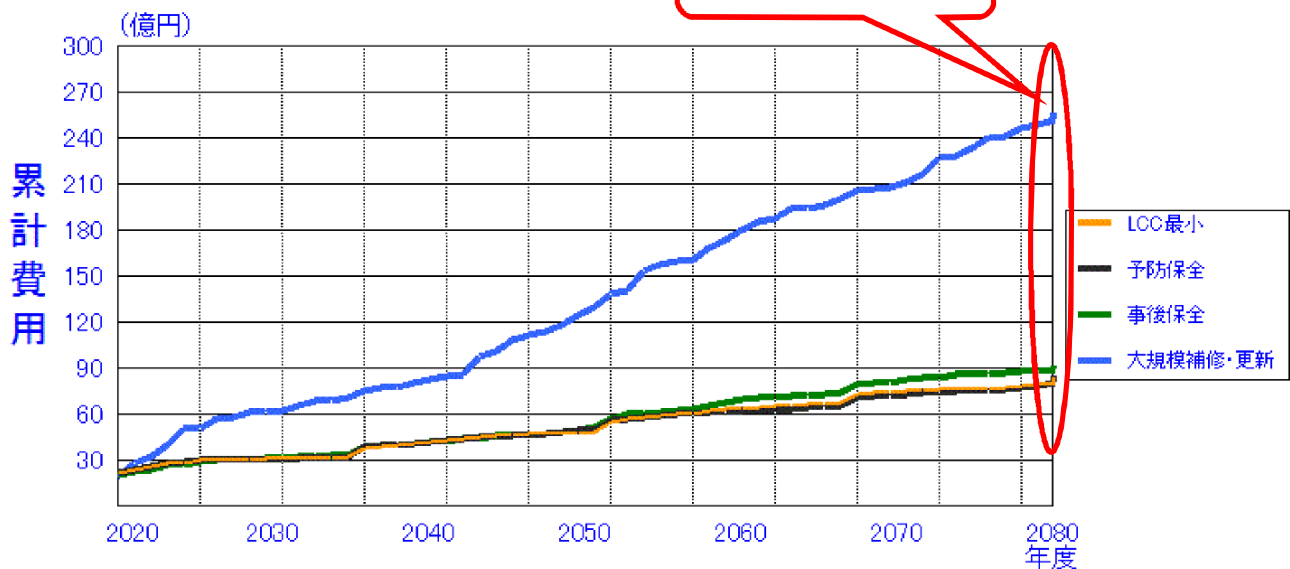
【長寿命化修繕計画による効果】

今後 60 年の修繕・架替え事業費(予防保全型、大規模補修・更新型)を試算した結果、予防保全型の累計は約 85 億円、大規模補修・更新型の累計は約 255 億円となり、予防保全型の維持修繕を実施することにより約 170 億円(約 70%)のコスト削減効果が期待できる

保全・更新費用の推移

上富良野町

計算橋梁総数: 114



【今後の予定】

今後は、町民の皆様が安全に道路施設を利用していただけるよう、橋梁定期点検の結果により策定した修繕計画を基本として、平成 27 年度(2015 年)から順次進めている修繕工事を引き続き実施していく予定となっております。

上富良野町の橋梁長寿命化修繕計画に関する
問い合わせ先

上富良野町 建設水道課

TEL : 0167-45-6981

以上。